

Best Available Copy

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
⑪ 公開特許公報 (A) 昭59—97678

⑫ Int. Cl.³
A 62 B 18/02
B 03 C 3/14

識別記号 廷内整理番号
6901—2E
Z 7636—4D

⑬ 公開 昭和59年(1984)6月5日
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 防煙マスク

⑮ 特 願 昭57—208260
⑯ 出 願 昭57(1982)11月27日
⑰ 発明者 塩田真三

東京都練馬区春日町1の37の7
第2みどり荘
⑮ 出願人 塩田真三
東京都練馬区春日町1の37の7
第2みどり荘

明細書

1. 発明の名称

防煙マスク

2. 特許請求の範囲

半導体1による高周波高圧発生回路を電極2を電源として作動させ、その二次側出力を整流子5、5'、5コンデンサー4、4'、4"により、俗々電圧整流する直流高圧を絶縁板6、6'に接続し、その間に誘電フィルター8で絶縁を兼ね、周囲をアクリル樹脂による吸収元素を多く含む繊維状活性炭フィルター7にてサンドイッチせる、電気的、機械的耐じん部とさらにガスの吸着剤12とを、マスク9内にセットしてなる防煙マスク。

3. 発明の詳細な説明

火災発生のときにもつともおぞろいのは、煙、一酸化炭素中毒と酸素の欠乏である。
しかし火災も早効であれば致命的な酸素欠乏の心配はあまりない。それよりもまず、吸じん、一酸化炭素を含んだ煙を吸い込むことで、呼吸困難から窒息する場合が多い。
その事が脱出のチャンスを失い死を招くことになる。
本発明のものは脱出に必要な20~30分の間を緊急避難することを目的とする防煙マスクである。
次いで図によつてその作用と効果とを説明する。

従来のフィルターのみでは煙を除煙させる事は無題でこれに対しても本発明のものは、電気的耐じんと誘電フィルターを組合せることにより、その効果を上げるようにしたものである。

図1 図に示すものは半導体1による高圧発生回路例で、電極2を電源として作動するもので、トランジスト3の二次面に高周波高圧を発生する。

この高圧をコンデンサー4、4'、4"及び整流子5、5'、5による俗々電圧整流して直流高圧を取り出す。

この直流高圧を絶縁板6に、アース側を6'に接続し、その電極間に絶縁を兼ねて誘電フィルター8を使用する。

この間にアクリル樹脂による吸収元素を多く含む繊維状活性炭フィルター7を使用したものである。

この特殊フィルターと吸収剤を瓶が詰めすれば、フィルターと電気的耐じん効果により通過後は煙が除去されるものである。

このフィルターと吸収剤をマスク9内にセットし、さらに一酸化炭素等を除去する目的でガス吸着剤12をマスク9の10にセットする。

11は電源の電極2の部分である。
このマスク9はあくまでも30分以内の緊急避難を目的とするものであるが、火災以外に作戦用としても使用可能である。

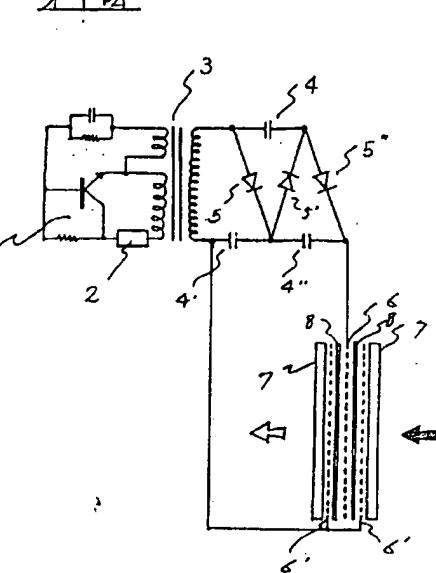
4. 図面の簡単な説明

特開昭59- 97678 (2)

図は本発明の実施例を示すもので、第1図はその回路例、第2図
はマスク図である。

1は半導体部 2は電池 3は高圧トランジスタ 4・4'・4''はコン
デンサー 5・5'・5''は整流子 6・6'は調節器 7は誘導斐
ルター 8は微電フィルター 9はマスク 10は吸入口 11
は電池部 12はガス吸収部 13はフィルターと電池の組合せ
た部分。

特許出願人
塩田真子



第2回

